

SADAMISAKI HAPPY CYCLING MAP

Bird
Wind
Toudai
Fusya
Stone wall
Sea
Akoujyu
Mikan
Shirasu
Hanaaji

佐田岬しあわせサイクリングマップ

たのしいときも かなしいときも
自転車と風に乗れば
しあわせに向かって行ける



**SADAMISAKI
SHIAWASE PROJECT**

しあわせ サイクリング

SADAMISAKI HAPPY CYCLING

長さ約50km、日本一長い佐田岬。宇和海と瀬戸内海ふたつの海にはさまれて、どこまでも青い空。山には、風車が悠然と立ち並ぶ。

佐田岬は最高のドライブスポットだけど、車で走るだけではもったいない。自分のからだで風をきって、佐田岬の自然や人のあたたかさに会いに行けば、しあわせに生きる力が身に付きそうな気がする。

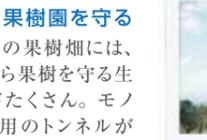


しあわせ Wind

佐田岬は、日本でも有数の風の強い地域！ 町の人たちは、激しい風と上手に寄り添う工夫をしながら生きてきた。追い風のときも、向かい風のときも、風を味方につけて。



防風垣



風の丘パーク



オリコの里

風から果樹園を守る
伊方町の果樹畑には、強風から果樹を守る生け垣がたくさん。モノレール用のトンネルがあったり、まるで迷路！

風を感じるなら
強風を利用し、風車が58基建てられている佐田岬。その巨大な風車群を見ることができスポット。

寒さをしのぐために
厳しい寒さに負けないようにつくられた「裂き織り」の文化を学んだり、体験したりできる。

Life しあわせの地を求めて

実は1ターン移住者が多い町・佐田岬。その魅力は一体何なのでしょう？ 移住者に尋ねてみました。

花も人も、自然が整えてくれる

高茂自然の庭 大利悦子さん

長年東京で働き、渡米経験もある大利さん。「畑仕事をしながら、海や温泉の近くで暮らしたい」と全国を探し、この地へ。現在、庭を自由開放し、希望者には自らガイドをしている。庭づくりは自然のままに。この地に合うものは育ち、合わないものは枯れていく。「自然に任せると、花も人間も整う」が大利さんの持論なのだ。ここに来ると、病気の人は元気に、元気すぎる人は大人しく！?なるから不思議。自分の中の自然を求めて、多くの人が訪れている。




庭の中にはベンチやブランコが用意してある。のんびり一日過ごす人も多いとか。

ヤマガラへの餌やり体験もできる。庭には巣箱や餌がたくさん。



Sweets しあわせの赤あんタルトを探せ!

佐田岬は人口に対して菓子屋さんが多い。そしてなぜかタルトは赤あん。いざっ! しあわせSweets探し!



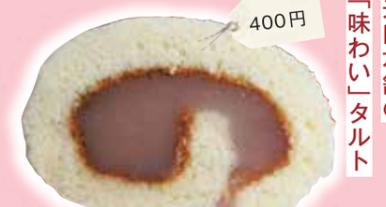
390円

金谷菓子舗の「秘伝あん」タルト

開業から90年味が勝負しとる。赤あんはお父さんが研究して完成したもの。手ば豆をつぶして練った、着色なしの秘伝あんこがよ。

清香さん 金谷寅之助さん

その他おすすめ
ガス釜で焼き上げるカステラも好評!(700円)



400円

米田本舗の「味わい」タルト

白あんを食紅で染めた、しっとりとした味わいが特徴。糖度を落とし、口ざわりのよい赤あんタルトです。

米田勝彦さん 代表

その他おすすめ
伊方みかんのエキスをふんだんに使ったおまんじゅう「伊方まつり」(300円)



390円

田村菓子舗の「あながなつ」タルト

初代から変わらない味。うちのあんこは、北海道産手ば豆を練り上げ、再加熱します。だからこそあながなつ(甘すぎず優しい味という方言)!

田村義孝さん 三代目店主

その他おすすめ
黒め塩ばーろは、三崎名物海産物とお菓子のコラボ(100g・520円)

なぜに菓子屋が多い!? なぜに赤あん!?

昔は今よりさらに菓子屋が多く、1集落に5~6軒あったとか。しかし、「ぜいたくは敵」とされた店が多いのではということ。赤あんは「縁起物」として人気になり、それが定番になったとか。

昔はみんな重労働やったけん、甘いものが重宝されたんやろね。お菓子屋さんだけではなく、家庭でも「いも飴」なんかを農作業の合間につくりよったね。

佐田岬裂き織り保存会 小林文夫さん